

2020年10月30日
第11号



国労九州

〒812-0013 福岡市博多区東3丁目9番3号
092-483-1515
発 責 千々岩 隆
編 責 水流 彰



肥薩線被害状況視察！



10月15日九州本部は7月の令和2年豪雨災害により大きな被害を出した肥薩線を視察しました。
道路はまだ至る所で通行止めや規制がかかり、復旧作業車か通行許可書が必要のため、地元OBの援助もいただいて視察に入りました。被害範囲が広くて、全てを視察することは出来ませんでした。が、それでも、ニュースや写真で見るとは大きな違いで実際に見てみると、そのすざましい被害状況に言葉が出ない状況でした。道床が流され、線路が宙に浮いたままの状況やトンネルが土砂に埋まった箇所など、至る所で土砂崩壊が起きていました。



球泉洞駅・駅舎・ホームも崩壊



渡駅 駅舎の屋根付近まで水位が来ている



一勝地駅から球泉洞駅間の線路
土砂崩壊し線路も湾曲している！



第一橋梁近くにある小さな橋梁
土砂と大きな岩が山積！

視察隊は、国道3号線を下り、27号線から肥薩線に入り、一勝地駅、球泉洞駅、渡駅、人吉駅と周り、高速で八代まで戻って、再度肥薩線に入り坂本駅、球磨川第一橋梁まで視察しました。途中、川沿いの道が崩壊しているため、線路に砂利を引いて何百mと仮設道路にしている箇所もありました。また対岸からしか見えない場所でも線路の道床が流され、浮いた線路や土砂崩壊で埋まった線路が見て取れました。